

# 敬和創



上田市立第六中学校  
学校だより No.12  
令和8年2月27日(金)



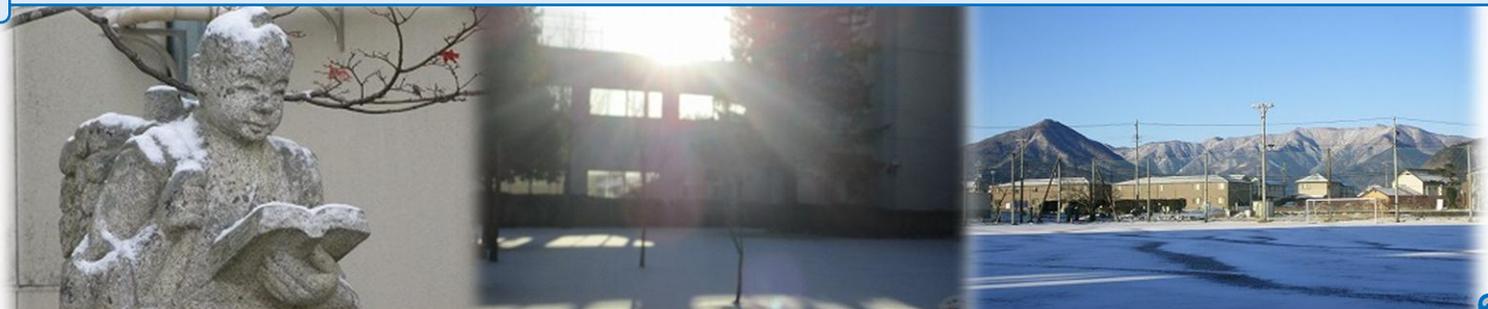
## 「挑む・守る・支え合う」～三位一体の2月



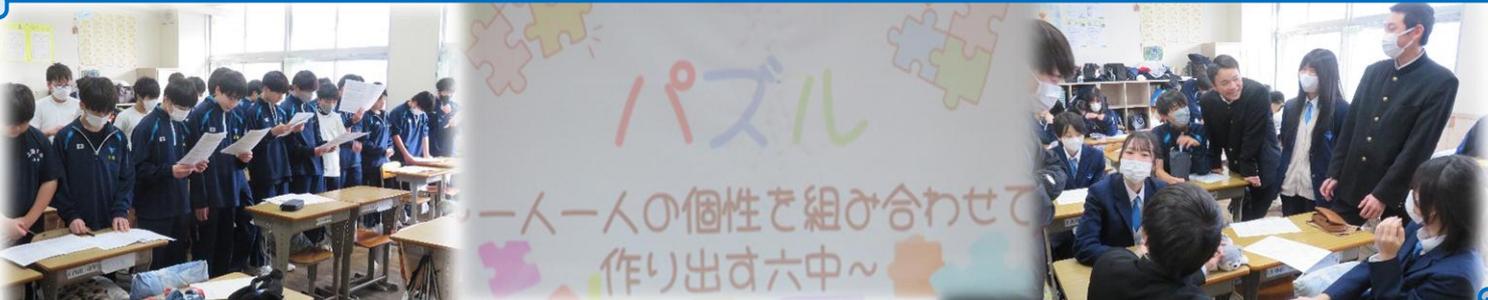
インフルエンザが猛威を振るった今月は、「給食を食べて下校」という日々が続きました。学級閉鎖となったクラスは計6クラスにのぼりました。がらんとした教室、日中も上履きだけの下駄箱。不自由な時だからこそ気づけたクラスの仲間の大切さや、健康の大切さを再認識した期間となったのではないのでしょうか。



1年：上田市の戦争を語り継ぐ～「若者たちへの伝言」長野大学 PEACE. EDU サークルの学生らによる出前授業を実施しました。今年度で3年目となる学びの交流が六中の伝統、そして憧れの連鎖となっています。



凍てつく朝：雪を纏った校舎に、冬の厳しさと同時に凛とした美しさを感じる2月。寒さと緩みが交互にくる「三寒四温」の言葉通り、一歩進んでは足踏みをしながら、季節は着実に春へと向かっています。



2年：2年生による生徒会が始動～全校スローガンが「パズル」に決定しました。修学旅行係会、そして3年生を送る会の合唱練習。一人ひとりの個性が重なり合い、六中の新しい形が見え始めています。

3年：熱気冷めやらす～「六中防災フェス」大成功！「自分事」の学びが開花。各メディアにも紹介されました。



01月30日(金)

今年度最後の授業参観で、3年生が「総合的な学習の時間」の学習発表「六中防災フェス」を開催しました。信濃毎日新聞(2月22日(日)掲載)、UCV レポート、東信ジャーナル(2月20日(金)掲載)、信州民放と、多くの取材を受け、その取組が紹介されました。何より、高校受験・卒業間近の3年生が、防災・減災学習で学んだことを自分事にして、保護者の皆様や地域の皆様に自分の言葉で語る姿が、そしてそれを安心して見守る先生方の姿が感動的でした。出前授業・各体験を提供して下さった長野県建設業協会や上田市危機管理防災課、NPO 上田市民エネルギー、消防署の皆様にも「恩返しをしたい」という意味で行ったフェス。中学校を卒業しても素晴らしい思い出としていつまでも心に残ることでしょ。3年生の皆さんが地域防災の担い手として活躍してくれる未来を期待しています。地域の皆様からも「このような学習は今後も続けてほしい」という声が多く聞かれました。来校された保護者様、地域の皆様、ありがとうございました！

★残された登校日数はわずか13日★

1年生、「憧れ」を「学び」に変えて、皆さんらしく3年生に負けない素晴らしい歌声を響かせてください。2年生、次は皆さんが六中の顔です。バトンはもう皆さんの手にあります。一つひとつのピースをつなぎ、「パズル」を完成させてください。3年生、最後のピースは自分の手で、自分を信じて「春」をつかみ取りましょう！このメンバーでしか共有できない時を最後まで楽しみましょう。



第六中学校 校長 中野 裕顕 担当：富山 貴子(教頭) Tel 22-5013 ueda6@sk.ueda.ed.jp